

ここまで来たアンチエイジング医療

EuroMediCom (Japan) 代表 菱沼 久美子

- *「不老不死」から「健康長寿」へ
- *学会が動き出してまだ20年
- *外面的治療と内面的治療
- *ボツリヌス菌によるしわの防止
- *カロリー制限が寿命を延ばす
- *外見的年齢は寿命を「予言」する
- *アンチエイジングの市場と可能性
- *広がる機能性化粧品市場
- *ドクターズコスメと大学病院
- *アンチエイジング医療の問題点



浅野 それでは開会いたします。（拍手）**政治、経済、経営を離れて、今日は医療の話**を菱沼久美子さんにお願いました。講師がどのくらい若くて美人かということは全然お知らせしなかったんですが、たくさんおいでいただきありがとうございます。

アンチエイジングというのは、昔は老化防止と言っていたと思いますけれども、これは男性でも女性でも大事なテーマです。しかしなかなか思うようにいかないということで、今日はヒントをいくつかいただければと思います。今さらアンチエイジングについて聞かなくてももういいという方も若干おられるかもしれませんが、（笑）しかし何歳になっても皮膚や髪の毛や頭の中については心配だらけですので、今日はた

っぷり菱沼さんにお伺いしたいと思います。

ただし菱沼さんはだいぶ緊張されておられますから、プレッシャーはあまりかけないでください。（笑）適当に笑っていただいたりして、ほぐしていただきたい。それでは菱沼さん、よろしく願います。（拍手）

菱沼 ご紹介にあずかりましたユーロ・メディ・コム・ジャパン代表の菱沼久美子と申します。今日は、このような場にお呼びいただきましてたいへん光栄に思うと同時に、非常に緊張しています。

と申しますのも、私自身は学会の運営事務局を担当しています。このユーロ・メディ・コムの世界アンチエイジング医学会はフランスのパリに拠点があり、そちらの運営事務局の日本代